

「テロ対策施設」事前了解しないでください 最大のテロ対策は原発の稼働を止めること！

2019年8月9日

佐賀県知事 山口祥義 様

本日、玄海原発3・4号機の特定重大事故等対処施設(特重施設)について九電から出された事前了解願について知事が回答すると報道があった。

●「テロ対策」と言いつつ、大型航空機の衝突の想定はせず、原子炉格納容器や使用済み核燃料プール建屋を頑丈にする工事はしていない。核燃料が溶融し、放射能漏れ事故を防ぐことはできない。

●特重施設は「テロ」だけでなく、大規模自然災害への対処施設でもあるのに、審査資料は「テロ」を理由に「白抜き」ばかりで、安全性を確認することができない。

●設置が5年間猶予(2022年まで)されているが、テロや自然災害はいつ起きるか分からない。

●「佐賀県原子力専門部会」での審議は1回だけ、本質的な議論もなく終わった。佐賀県議会では原子力安全対策特別委員会での議論さえなかった。県は市民の不安に答えていない。

私たちは以上の理由から、県民の安全・安心を守る立場にある知事が事前了解しないことを求める

最大のテロ対策は、原発の稼働を一刻も早く止め、廃炉とすることである。

プルサーマルと佐賀県の100年を考える会／玄海原発反対からつ事務所
原発を考える鳥栖の会／今を生きる会／原発知っちゃる会／風ふくおかの会
戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会／たんぽぽとりで
東区から玄海原発の廃炉を考える会／福岡で福島を考える会／あしたの命を考える会
怒髪天を衝く会／玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会